

# 写真とボク

植田正治写真展  
SHOJI UEDA



①本を持つボク 1949年頃 ②僕のアルバム(1935年-50年代 未発表写真)より ③コンポジション 1937年 ④シリーズ「砂丘モード」より 1983年 ⑤土門拳と石津良介 1949年  
①③④⑤鳥取県伯耆町立植田正治写真美術館蔵 ©Shoji Ueda Office

鳥取県出身の植田正治(1913~2000)は、精巧な技と卓抜した造形センスを發揮しながら、こころから「写真すること」をたのしみ、追求し続けた写真家でした。鳥取砂丘や地元の浜辺を舞台に、家族や身近な人々をオブジェのように配して撮影された「演出写真」をはじめ、独自のスタイルによる植田正治の作品は、海外でも「UEDA-CHO(植田調)」と称され、近年つとに評価が高まっています。とりわけ、1980年代から取り組んだシリーズ「砂丘モード」に代表されるファッション写真は、実験的アイデアと洒落たユーモアに満ちており、ジャンルを超えたアーティストたちにも刺激を与えるなど、幅広い層の人々を魅了しました。1930年代にヨーロッパの前衛的な写真表現に触れた植田正治は、地元で写真館を営む一方で、真に自由な自らの写真世界にこだわりました。家族、山陰の風土、日常の何気ない事象…多彩なテーマを取り上げ様々に実験的試みを重ねても、植田はかわることなく「写真すること」を謳歌し、あたたかで奥深い眼差しを対象に向けているのです。本展は、植田正治の初期から晩年に至る代表作約200点を展覧する、日本で初めての大規模な巡回展です。鳥取県の植田正治写真美術館のコレクションに加え、没後に発見されたネガによる作品を初めて展示公開します。今日、ますます注目度が高まる写真家、植田正治の軌跡と表現世界をご紹介します。

## 関連プログラム

**講演会「わが師、植田正治先生の想い出」** ※参加無料  
[日時]3月5日(土) 午後2時~ [場所]多目的スタジオ [講師]瀬尾 浩司氏(写真家)

**ワークショップ「体験!演出写真」(予定)** ※参加無料  
ミニ砂丘スタジオを使って撮影し、アイデアいっぱいの植田ワールドを体験します。  
[日時]3月6日(日) 午前10時~午後4時 [講師]瀬尾 浩司氏(写真家)/松崎 理氏(アートディレクター)  
[定員]20名(小学生以上) ※お電話でお申し込みください。1月15日(土)より受け付けます。2月20日(日)締切。  
申し込みが多数の場合は抽選となります。

**ギャラリートーク** ※企画展観覧券が必要です。  
[日時]2月12日(土)、3月12日(土) 午後2時~ [場所]企画展示室 [講師]当館学芸員

**美術講座** ※参加無料  
[日時]2月13日(日)、3月13日(日) 午後2時~ [場所]講義室 [講師]当館学芸員

### 常設展のご案内

4月24日(日)まで

第1室

小特集  
フランク・ブランギン

第2室

「写実性」と「絵画的性」

第3室

ふるさとの作家たち

第4室

①ターナーの版画  
②ガラスの神様たち



## 郡山市立美術館

Koriyama City Museum of Art

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2  
TEL.024-956-2200 FAX.024-956-2350  
<http://www.city.koriyama.fukushima.jp/bijyutukan/>

バス/JR郡山駅5番のりば  
「東部タウン循環線・美術館先回り」行き  
「郡山美術館」下車すぐ  
乗用車/東北道「郡山南I.C.」、磐越道「郡山東I.C.」より15分